

編集委員会からのお知らせ

「応用物理教育」編集委員長 根城 安伯

— 論文投稿規定の変更および論文別刷りの廃止などについて —

平素より「応用物理教育」の編集についてご助力ご支援を賜り、まことにありがとうございます。このたび、表記の課題について、数年にわたりまして検討が続けられてまいりましたが、下記の事項が 2014 年度の 38 巻, 第 1 号から実施されますことを分科会会員の皆様にお知らせ申し上げます。

1. 投稿規定の改正

さて、現在の本誌のサイズは B5 版で出版してまいりましたが、A4 版に変更することについて種々検討されてまいりました。その結果、2014 年度の第 38 巻, 1 号から A4 版に移行することとなりました。ついては、今後、論文を投稿されるに当たり、新しい論文作成要領、投稿表をご覧ください、それに沿って原稿を作成していただきますようお願い申し上げます。

2. 論文別刷について

論文別刷りについても従来から検討がなされて参りましたが、幹事会での了承が得られましたのでご通知申し上げます。すなわち、投稿論文が出版に付された場合は論文の pdf を著者にお送りします。別刷りについては、無料別冊, 有料別冊とも廃止となりますことをお知らせいたします。この結果に至りました理由は、学会の経営財政上の背景があり、分科会幹事会でのいろいろな意見、検討を重ねました結果、上記の結論に至りました。会員の皆様には、このことをご理解いただき、特段のご協力をお願い申し上げます。

3. 投稿表の改正

論文別刷の廃止に伴い、投稿表の中の別刷申し込みの欄がなくなりますことをお知らせいたします。

4. ページの統一について

「応用物理教育」の出版巻, 号について、これまでは各号ごとに 1 ページから始まっていました。一般的には、雑誌の刊行においては、各巻でページ数を統一すること

が通例です。上に述べました改正の他に、通常の雑誌と同様に巻ごとにページを統一することといたしました。

「応用物理教育」は、今後も本誌の特徴を活かした知見の公表を継続し、サーキュレーションの向上を目指して本誌独自の立場を維持していく所存でございます。活発な検討、討論の場として引き続きご投稿、ご活用いただけますよう切にお願い申し上げます。